

「製 図」	単位数	2 単位
	学科・学年	電子機械科・第 2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 製図に関する日本工業規格および機械製図に関する知識と技術を習得する。 2 製作図、設計図などを正しく読み、図面を構成し作成する能力と態度を身に付ける。
使用教科書・副教材等	機械製図（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学期	1 製図の基礎	4	・ 正投影法による図示法を理解し、3 面図が正しく描けるようになる。 ・ 図面の様式を知り、いろいろな図形の表し方や寸法記入法などを身に付ける。 ・ 各種機械要素の製図を通して、J I S との関連を深める。	期末
	2 製作図	5		
	3 機械要素の製図	6		
2 学期	4 機械製図検定の演習 5 C A D 製図 CAD システムの基礎 CAD の基本機能と利用	7	・ ねじについて理解する。 ・ 基本的な製図に関する知識や規格の理解度を確認する。 ・ C A D システムの機能や特徴を理解し、C A D の基本操作を学び、C A D による製作図の作成方法を習得する。	期末
		8		
		9		
		10		
3 学	CAD による製作図の製作	11		
		12		
		1		
		2		学年末
		3		

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・製図に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	・製図に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	・製図に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	・製図に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
・評価の方法は、上記 4 つの観点を含めた学習活動・学習態度、作品の内容と提出状況、出席状況により総合的に評価します。	

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

<p>普段の授業を大切にし意欲的に授業に取り組み、身の回りにある製品を設計者の目線で見て興味関心を高めておきましょう。また、作図方法などは、多くの実技をこなすことによって身に付けることができます。わからないことは、どんどん質問して確実に理解していきましょう。卒業後、技術者として働いていくためには確実に身につけておいてほしい科目です。しっかり、学習しましょう。</p>
